

たかとき川

2009・vol 45

特・集 森の恵み
「トチの実」の魅力

丹生ダム広域誌

たかとき川

2009

Vol.45

監修：高時川治水対策促進協議会

発行：独立行政法人水資源機構 丹生ダム建設所

雪晴る、木立
水源の



丹生ダムからのお知らせ

丹生ダムホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/niu>

余呉町小原のかご



ゼニカゴ

今から800年ほど前、土御門天皇の中宮であった陰明門院の皇子は、体が弱かったこともあり、小原の地に伴の者と住んでいました。小原の人たちは、皇子のことを「白子皇子」と呼び、とてもよく世話をしていたといわれています。頭の良い白子皇子が考案して、村人に教えたものの1つがカエデを材料にした「木のかご」です。

「小原かご」といわれるその木かごは、ゼニカゴ、ツボカゴ、ナタカゴなど種類も多く、生活に欠くことのできないものでした。

その素朴な美しさもあって人気があり人々に広く売られていましたが、今では作る人が殆どいなくなり、余呉町から消えかけている伝承文化です。

余呉町では、有志で「小原かごを復活させる会」を作り、この「小原かご」作りの技術の伝承に取り組んでいます。会員の方々は、再び「小原かご」を皆様へお届けしたいと日々奮闘しておられます。



EVENT

余呉町 ~3月中旬

「余呉湖ワカサギ釣り」

○内容/余呉湖のワカサギは体長6cm、他の湖沼のもの比べて小さいのが特長です。初めての方でも簡単に釣ることができ楽しんでいただけます。竿、仕掛け、えさは販売しておりますので、手ぶらで来られて大丈夫です。天ぶらの準備を持ってこれれば、その場で食べることもできます。

○場所/余呉湖
○問合せ先/余呉湖漁業協同組合(余呉湖ビジターセンター内)
☎ 0749-86-3033



2月21日(土)

JRふれあいハイキング「キラリ余呉湖雪国の生活にふれる」

○内容/余呉駅に集合し、衣掛柳から余呉湖までハイキング。そこでワカサギ釣りや昼食を楽しんでいただき、その後、余呉湖観光館で村人との語り、余呉の昔話を聞くという例年人気のあるツアーです。ワカサギ釣りは専門家が指導し、釣り道具はお貸しします。初めての方も安心。釣れたワカサギはお持ち帰りいただけます。

○場所/集合と解散は余呉駅
○問合せ先/余呉町観光協会 ☎ 0749-86-3085

QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様にプレゼントをお送りしています。

今回のクイズは…

高時川上流域の集落では、昭和初期までトチの実を勝手に採ることは許されませんでした。秋の彼岸の入りの日のことを●●●●●と呼んで、この日までトチ拾いには行かなかったそうです。では、●●●●●とは何の日と呼ばれていたのでしょうか？

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】

ハガキには「クイズの解答・住所・氏名・年齢・性別・職業」を明記してください。また「たかとき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。〒529-0522 余呉町坂口819(郵便番号は必ずお書きください) 水資源機構 丹生ダム建設所 広報誌係

*クイズの締切は平成21年2月28日(土)付消印まで有効です。

【たかとき川44号】のクイズの答え

《 森 本 》

前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々が当選されました。

クイズ当選者(応募総数103枚)

秋野 剛嗣様 阪井 恒雄様 塚田 雅司様 山田やす江様
小川 正一様 高橋 健吉様 服部 裕美様
小林 公子様 田川 あき様 三橋 弘美様

プレゼント申し込みの際提供された個人情報、プレゼント送付のために使用させていただきます。統計データとして個人識別性のない形でのみ使用します。断りなく第三者と共有したり、第三者に提供したりすることはありません。

湖北町

2月22日(日)

「グルメの集い」

○内容/冬の琵琶湖の自然・景観を見ながら、湖魚を素材にした固有の郷土料理や「うなぎのじゅんじゅん」等を賞味していただき、湖北の食文化を楽しんでいただけるイベントです。

○場所/朝日漁業会館
○問合せ先/湖北町 環境整備課内 グルメの集い事務局
☎ 0749-78-8306

長浜市

~3月10日(火)

「第58回 長浜盆梅展」

○内容/盆梅とは鉢植えの梅、つまり梅の盆栽のこと。開花時期に応じ、300鉢の中から約90鉢を純和風の座敷に展示されます。中には、高さ3m近い巨木や樹齢400年を超える古木もあります。なお、2月7日(土)~2月22日(日)は、盆梅ライトアップ(夜間のライトアップ)が開催されます。

○場所/長浜市慶雲館、梅の間。慶雲館は、明治20年、明治天皇の長浜行幸に際し、当地の富豪・浅見又蔵氏が行在所として建設しました。慶雲館の名は、初代総理大臣の伊藤博文公の命名と伝わっています。

○問合せ先/長浜市役所 観光振興課 ☎ 0749-62-4111(代)

~3月10日(火)

「浅井盆梅展」

○内容/樹齢200年を超える老木、巨木もあり、梅の古木約70鉢がほのかな香りをたどわせます。

○場所/浅井ふれあいの里・プラザふらの森
○問合せ先/長浜市役所 観光振興課
☎ 0749-62-4111(代)



編集後記

今回の特集でトチ餅が食べたくなったのではないのでしょうか？また、昔のことを思い出して家ではこれくらいトチを混ぜておいたのか？と子供の頃は苦くて苦手だったか思い出されたのではないのでしょうか？どこの家にもトチ餅に限らず伝えられてきた味というものがあると思います。どんどん新しいものが作られ、時の流れを速く感じる中で、この味をふと口にしたとき落ちつき懐かしく感じたりします。今ではなかなか昔作っていたとおりには道具や材料がなかったりしてできないことも多いかもしれませんが、そのときのことを知らなければなかなかうまいかないこともあるのかなと思います。年の始まりではありますが、昔のことも思い出しながら新たな年のスタートをしたいと思っています。

俳句/水源の 木立明るし 雪晴る、 谷口 秋翠

表紙撮影/余呉町中河内 2004年・冬